

【情報公開文書】

好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連膜性腎症の臨床病理学的特徴と予後の検討

1. 研究の対象

秋田大学および関連施設において、1999年1月1日から2025年12月31日の間に腎生検を受け、好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連糸球体腎炎と診断された方の中で、腎組織の蛍光抗体法で糸球体基底膜に IgG の顆粒状沈着を認めた方を対象とします。

2. 研究目的・方法

この研究では、好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連糸球体腎炎の腎組織に IgG が沈着している (膜性腎症の病変を併せて持っている) 患者さんの臨床病理学的特徴や予後を検討することを目的としています。膜性腎症病変を合併する患者さんは腎障害の程度が強いことが報告されていますが、患者さんの数が少ないため、まだよくわかっていない部分があります。方法は対象となる患者さんの検査時の腎組織の免疫 (MPO) 染色を行い、陽性・陰性のグループに分けて、臨床所見、病理所見、予後に違いがあるか調べます。

この研究は実施に先立ち、研究実施者は倫理審査委員会において医学的必要性、研究の倫理面、安全面、妥当性の観点から審査を受け承認を得ております。

研究実施期間：研究実施許可日～2029年3月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026年10月1日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：1) 患者基本情報：年齢、性別、既往歴、治療歴、腎予後

2) 尿所見 (尿蛋白、尿潜血、沈渣)

3) 血液所見 (腎機能、電解質、血算、肝機能、血清蛋白、血清 MPO-ANCA)

4) 腎組織所見 (蛍光抗体法、光学顕微鏡、電子顕微鏡) 等

試料：腎組織

4. 外部への試料・情報の提供

秋田大学から外部機関への提供はありません。各共同研究機関から個人を識別できない状態に加工した情報をセキュリティの担保されたクラウドストレージを用いて秋田大学に提供されます。個人を紐づける対照表は各共同機関で保管されており、秋田大学へは提供されません。

5. 研究組織

【研究代表機関】

秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科 齋藤 綾乃（研究代表者）

【共同研究機関】

秋田厚生医療センター 腎臓内科 小澤 政豊

中通総合病院 腎臓・リウマチ科 藤原 崇史

市立秋田総合病院 血液・腎臓内科 政井 理恵

日本海総合病院 腎臓膠原病内科 中山 隆弘

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学医学部附属病院 血液・腎臓・膠原病内科 齋藤 綾乃（研究代表者）

〒010-8543 秋田県秋田市本道 1-1-1

TEL 018-884-6116(代表)

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 宮腰 尚久